

## 1 指導目標

- (1) 部活動を通し、中学生としてふさわしい礼儀やマナーを身につける。
- (2) 剣の理法の修練による過程において、人間形成を目指す。
- (3) 試合結果だけを求めず、部員全員が、初段以上の段位取得を目指す。

## 2 活動日・活動時間

自主練習： 火・木 7：15～8：00

放課後： 月・金・・・ステージ・剣道室，水・・・体育館半面，  
木・・・剣道室，土・・・体育館 or 出稽古（日・・・大会など）

## 3 活動内容・留意点

## 〈活動内容〉

- ・基本素振り（大素振り，正面打ち，左右素振り，早素振り）
- ・切り返し
- ・基本打ち（面，小手，胴，小手面など）
- ・応じ技
- ・打ち込み稽古
- ・掛かり稽古
- ・地稽古
- ・日本剣道形，木刀による基本稽古法
- ・筋力トレーニング

## 〈留意点〉

※昭和五十年に制定された剣道の理念「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という精神にのっとり指導を行う。礼儀正しい挨拶、集合時間を守る、活動におけるマナーなどあらゆる場面において社会性を身につけるように指導する。特に礼法指導に力を入れ、「相手の人格を尊重し、心豊かな人間の形成」に努める。また、「試合での勝利」、「段位の取得」など、結果に結びつく努力を生徒ができるような指導を行うとともに、剣道の楽しさを感じられるような指導を行う。

## 4 長期休業中の活動および指導上の留意点

- ・健康安全面に留意し、無理のない練習計画を立てる。
- ・基本練習を中心に行い、正しい基本を身につける。
- ・出稽古を多く計画し、技術向上を目指す。また、技術だけでなく、他校における礼儀や態度など社会性が身につくようにする。